

平成21年6月16日

**“ 鉄道友の会 ” 選定の『 2009年 ローレル賞 』
中之島線に乗り入れる3000系車両の受賞が決定！**

～ 明確なコンセプトに基づく車内外の新しいデザイン、客室設備の高機能化が評価 ～

京阪電気鉄道株式会社（本社：大阪市中央区、社長：上田成之助）の3000系車両が、鉄道友の会（事務局：東京都千代田区九段南、会長：須田 寛）が選定する「2009年 ローレル賞」を受賞することになりましたので、お知らせします。

「ローレル賞」は、鉄道友の会の選考委員会が、前年中に営業運転を始めた新車と見なせる車両のなかから、性能、デザイン、製造企画、運用などの諸点に卓越したものと認められた車両に対し与えられるもので、当社では1984年の6000系車両に続く2回目の受賞となります。

今回受賞が決定した3000系車両は、昨年10月19日（日）の中之島線開業と同時に導入したもので、主に、中之島と京都を直通で結ぶ「快速急行」として使用しています。車内は、1列＋2列配置の自動転換クロスシートを採用、当社車両としては初となる液晶ディスプレイ表示器や、自動貫通扉も設置しています。また、座席の表地には座り心地が良くソフトな手触りが特長の「エクセーナ」（東レ(株)の最高級スエード調マイクロファイバー素材）を鉄道車両で初めて採用し高級感を演出するなど、快適で便利な車内環境をめざしました。さらに、京阪グループブランド戦略による鉄道車両のカラーコンセプトに則り、水都大阪を意識した紺色をメインカラーに採用するとともに、デザインの基本コンセプトを具現化した円弧の造形を車内外の随所に展開しています。

以上のような特徴から、「明確なコンセプトに基づく車内外の新しいデザイン、客室設備の高機能化」という点が評価され、今回の受賞決定となりました。

概要は別紙のとおりです。



3000系車両

(別紙)

1. 「ローレル賞」受賞の概要

受賞車両	京阪電気鉄道 3000系車両
選定理由	標準工法や標準機器類の採用によってコスト削減を狙った車両が全国的に増加する傾向の中で、ブランド作りを意図する鉄道会社のイメージリーダーとしての役割を担い、明確な設計コンセプトを貫き、新しいデザインを築き上げ、車内設備が充実した魅力のある車両を実現。「明確なコンセプトに基づく車内外の新しいデザイン、客室設備の高機能化」という特徴が、選考委員会において高く評価された。(鉄道友の会 発表資料より)

2. 3000系車両の概要

編成	8両編成 (Mc T T T M T T Mc)
定員	先頭車：113人 (うち座席 37人～38人) 中間車：126人 (うち座席 45人)
座席	扉間：1列+2列の自動転換クロスシート 車端部：ロングシート。運転台後部は2列+2列の転換クロスシート
制御装置	VVFインバータ方式
両数	48両 (8両編成×6本)
車体製造所	川崎重工業株式会社
主な特徴	<ul style="list-style-type: none">・座席配置は1列+2列の転換クロスシート・当社車両初の液晶ディスプレイを設置し、旅客案内やニュースなどの情報を表示・車両間貫通路には自動扉を設置・座席の表地には東レ(株)の最高級スエード調マイクロファイバー素材「エクセーヌ」を鉄道車両で初めて採用

参考 鉄道友の会 概要

「鉄道友の会」は、鉄道ファンが組織する全国規模の趣味団体。1953年、広く鉄道知識を普及し、鉄道趣味を通じて会員相互間の親睦を深め、併せて鉄道を愛護し、その進歩発展に寄与することを目的として創立されたが、以来50年余が経過し、現在は正会員約3,600名、賛助会員62団体を数え、全国に5研究会・18支部が設置されている。

以上